

## 肺高血圧症外来 ～肺高血圧症の治療のススメ～

心臓は全身の動脈に血液を送り出す「左心系」と、肺に血液を送る「右心系」に分けられます。よく耳にする高血圧症では左心系の血圧が上昇しますが、右心系の血圧がさまざまな理由で異常に上昇する病気を肺高血圧症といいます。比較的まれな病気ですが、初期は無症状であるため、発見されたときにはかなり進行した状態であることがよくあります。

肺高血圧症を来す疾患には、次のようなものがあります。

1. 肺動脈性肺高血圧症（特発性・遺伝性肺高血圧症、膠原病や先天性心疾患・門脈圧亢進症等）
2. 弁膜症などの左心性心疾患に伴う肺高血圧症
3. 慢性閉塞性肺疾患などの肺疾患、低酸素血症に伴う肺高血圧症
4. 慢性血栓性、または塞栓性疾患における肺高血圧症

これまで、肺高血圧症の治療は困難でしたが、最近肺血管を拡張する治療薬が次々と開発されています。私たちは、肺高血圧を早期に発見、診断し、適切な治療を行うために「肺高血圧症外来」を開設しました。家族が肺高血圧症といわれている方、膠原病といわれた方、原因不明の息切れのある方は、主治医と相談して、「肺高血圧症外来」を受診されることをお勧めします。

肺高血圧症外来

毎週木曜日 14:00～16:00

完全予約制(担当:山田博胤、竹谷善雄)

問い合わせ: 地域医療連携センター

088-633-9106



▲運動負荷心エコー検査